



NO.

# いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 天部の仏…聖天様

住職 平田真純

「大聖歡喜天」…親しみを込めて「聖天様」は、  
仏法を守護し、一心に信ずる者の心願を成就せしめる  
尊天様として、多くの方々の信仰を集めています。

聖天様は、インドのガネーシャ神がそのルーツである  
ことから、時として聖天様⇨ガネーシャ神⇨ヒンド  
ウー教と、誤解されて捉えられる向きもあるようです。  
ガネーシャ神は、多くのインドの方々が深く帰依す  
る神で、聖天様と深い因縁があることは間違いありま  
せん。しかし私たち日本人が信仰する、仏教尊として  
の聖天様とヒンドウー教のガネーシャ神は、その信仰  
や思想においては、すでにほぼ別の御尊体といっても  
過言ではありません。

私たちの信仰する聖天様は、「天部の仏様」つまり  
あえてわかりやすい言葉にすれば、「仏の教えに通ず  
る神様」となるでしょう。

仏教では便宜上、仏様を四つのランクに分けていま  
す。一番上が「薬師如来」や「阿弥陀如来」などの「如  
來部」、二番目が「觀世音菩薩」や「普賢菩薩」などの  
「菩薩部」、三番目が「不動明王」や「愛染明王」な

どの「明王部」、そして四番目が「大聖歡喜天」や

「毘沙門天」などの「天部」となります。ただ、単純  
に「如来部」が一番偉くて「天部」は劣る、というわ  
けでは必ずしもありません。「部」というのは、その世  
界、その立場というような意味だと思います。すべて  
の仏尊は仏の教え、真理のもとにご活躍されておりま  
すので、あくまで便宜上の分類と思われてください。

ちなみに、「天部」の下が人間の世界になります。  
浮世の願いを申し上げるのに、最も身近な仏様とい  
うことができます。

また、多くの「天部」の仏様が観音様の化身とされ  
ているのは、観音様がその「菩薩」としての姿を変え  
て、衆生を救うために降臨されたということです。聖  
天様の御本地仏が十一面觀音様であるというのは、こ  
こに訳があります。

ものごとの真理が仏の教えとして我が国に伝わり、  
その具現者としてあまたの神仏が尊崇され、その中で  
聖天様の信仰も盛んとなり、以来長い間、私たちはご  
利益を授かり、また私たちからの供養は練られてきま  
した。日本人の思想や文化に呼応してくださった聖天  
様は、あまたの神仏とともに、私たちを豊かにしてく  
ださることでしょう。

# 待乳山便り

## 安全講特別講演 報告

四月二十一日、安全講終了後大広間にて、鶴松房治さんによる「作家 池波正太郎とその作品」の講演が行われました。



多くの方が広間に集まり鶴松さんのお話には耳を傾け、感動と笑いに包まれました。

## 日本浪曲協会法要 報告

本堂右手駐車場に立つ浪曲相輪塔の供養会を行いました。日本浪曲協会様より三十五名の方がご列席され法要が執り行われました。

僧侶による読経の中、列席者は心をこめて焼香をされました。



## 信徒総代 退任

信徒総代の浅野正三様がご退任されました。今まで当山の発展のためにご尽力いただき、ありがとうございました。

## 泉水家 二代家 結婚式

四月二十九日(月・祝)午前十一時

当山僧侶の泉水堯有師と新婦の美幸さんの仏前結婚式が平田住職戒師の元執り行われました。

天候に恵まれ結婚式日和の中、聖天様に見守られ無事結婚式は終了いたしました。今後も変わらず当山の発展とご信徒のために活躍いただきたいと思えます。



## 御奉納



高岡京子様より掃除機を二台ご奉納いただきました。

現在本堂では毎朝八時四五分頃に掃除をしています。

おりますが、新しい掃除機は音も静かで本堂の掃除に適しております。大事に使わせていただきます。

## 御奉納



総代の西川様、及び世話人の酒井様、井上様より朱塗り三宝のご奉納をいただきました。

三宝は神仏にお供え物をする台で、三つの方向に眼像と呼ばれる穴が空いている事から神道では「三方」と書くようですが、仏教では仏法僧の三宝にかけて「三宝」と書くそうです。

漆の塗りも新しく鏡面のようにきれいな三宝で、お供物をお供えして聖天様も喜んでいただけると思えます。

ありがとうございました。

## 七月坐禅の会中止のお知らせ

七月二十七日(土曜日)の座禅の会は隅田川花火大会と重なるため中止となります。また花火当日は午後四時より、安全確保の為、一般の立ち入り、お参りをお断りいたします。どうぞご了承ください。

なお坐禅の会は、六月および八月以降は通常通り第四土曜日に行います。

# 浮世絵展

## ―待乳山 隅田川・山谷堀―

九月十四日〜十月六日、信徒会館大広間において  
浮世絵展を開催いたします。

平成二十五年より始まり隔年で開催の浮世絵展で  
すが、今年で第四回目になります。

今回のテーマは「待乳山・隅田川・山谷堀」です。

待乳山が描かれた浮世絵をはじめ、隅田川、山谷  
堀の上流の荒川、石神井川などにもスポットを当て  
て展示の予定です。

詳しくはホームページにて掲載いたします。

入場 無料



# 六月御縁日大法要行事紹介

## 歡喜地藏尊供養会

六月二十四日(月) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

六月二十四日、地藏

尊供養会を執行いたし  
ます。参道の入り口と  
中庭の二か所の地藏堂  
をご供養いたします。

お地藏様は「地藏菩  
薩」といい人々を導く  
「菩薩部」の仏様です。

私達は「地獄・餓

鬼・畜生・阿修羅・人

間・天」行き来する六

道輪廻の世界にいるわ

けですが、わたしたち

の人生の中でもこの六道を何度も行き来していると

も考えられます。

お地藏様はこの私達の六道の世界それぞれに現れ  
救ってくださいさる菩薩様です。

地獄や飢え、怒りの苦しみの中、手を差し伸べて  
くださり、願いが叶い天の世界にいるときには利他  
の心を芽生えさせ功徳を積ませてくださり、苦しみ  
とこだわりの輪廻の世界を越えて正しい仏様の道に  
導いてくださいます。



聖天様の御本地仏である十一面観音様も「菩薩部」  
にいらつしゃいますが、聖天様を導くのが十一面観  
音様であれば、私達が六道のどの世界にいても聖天  
様のもとへ導いてくださるのが待乳山にいらつしゃ  
る歡喜地藏尊ではないでしょうか。

歡喜地藏尊供養会ではこのお地藏様のお経を皆様  
でお唱えし、お地藏様を供養いたします。

講にお申し込みの方には腕輪念珠をお授けいたし  
ます。

お地藏様とのご縁を深めることにより、即ち聖天  
様とのご縁も深めることにも繋がります。

様々な状況、思いでお参りをされている方がいら  
つしゃいますが、どんな状況でもお地藏様は聖天様  
の元へ導いてくださいます。

そういった気持ちで歡喜地藏尊供養会にご参加い  
ただき、また普段のお参りをしていただければより  
一層聖天様のご利益をいただけることでしょう。



# 六月行事予定

## 御縁日大法要

### 地藏供養会

六月二十四日(月) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

歡喜地藏様をご供養し、特にお子様が無病息災を祈願いたします。

### 朝まいり会

六月一日〜七日 午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には読誦終了後に食事作法を行います。

### 日曜勤行

六月九日(日) 午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

### 写経の会

六月九日(日) 午前十時/午後一時

会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

### 坐禅の会

六月二十二日(土) 午後五時〜七時 定員三十名

参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

### 合同大般若法要

六月二十五日(火) 午前十一時

法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げる御礼の法要です。

### 七月の行事

#### 御縁日大法要

#### 出世観音供養会

七月十七日(水)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

#### 常香講大法要

七月二十日(土)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

## ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力により一層高められ、私どもが不可能と思われるような願

い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈禱料

別座祈禱 壺万円(一週間)  
浴油祈禱 三千五百円(二週間)  
華水供 五百円(一日)

## 法要案内

当山では予約にて法要を行うっております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壺万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。